写

認　定　書

国住指第８５５号
平成26年7月29日

ニチハ株式会社
代表取締役社長　山中　龍夫 様

国土交通大臣　　太田　昭宏

下記の構造方法等については、建築基準法第68条の26第1項（同法第88条第1項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法第2条第七号の二及び同法施行令第107条の2第二号（軒裏：30分間）の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号
　　QF030RS-0240

2. 認定をした構造方法等の名称
　　通気見切り金物・両面化粧繊維混入スラグせっこう板張／木製下地軒裏

3. 認定をした構造方法等の内容
　　別添の通り

（注意）この認定書は、大切に保存しておいてください。

別　添

1. 構造名：
通気見切り金物・両面化粧繊維混入スラグせっこう板張／木製下地軒裏

2. 申請仕様の寸法：
申請仕様の寸法を表1に示す。

表1　申請仕様の寸法

項　目	申　請　仕　様
軒の出	壁勝ち：113～1840mm
	軒勝ち：88～1840mm
軒の形状	勾配又は水平

3. 申請仕様の主構成材料：
申請仕様の主構成材料を表2に示す。

表2　申請仕様の主構成材料

項　目	申　請　仕　様
被覆材	材料：両面化粧繊維混入スラグせっこう板 組成(質量%)： セメント質原料　46(±5)～75(±5) 無機質系混和材　20(±2)～38(±1) 有機質系繊維　5(±1)～ 8(±1) 有機質系混和材　0(＋1)～ 1(±1) 無機質系繊維　0(＋1)～ 7(±1) 但し、 セメント質原料：スラグ、せっこう、セメント等 無機質系混和材：マイカ等 有機質系繊維　：パルプ等 有機質系混和材：パルプ粉等 無機質系繊維　：ガラス繊維等 化粧(表裏面)： 材料：1)～6)の一、又は組合せ 1)アクリルウレタン樹脂系塗料 2)アクリル樹脂系塗料 3)アクリルシリコーン樹脂系塗料 4)ふっ素樹脂系塗料 5)エポキシ樹脂系塗料 6)無機質系塗料 塗布量：230g/m^{2}以下(表裏面合計固形分量) 有機質量：110g/m^{2}以下(有機質固形分量) 密度：0.87(±0.15)g/cm^{3}以上 形状・寸法： 厚さ：12(－1.2)mm以上 最低板厚：11mm以上 容積欠損率(模様深さ)：1.0%以下 表面形状：1)又は2) 1)エンボス 2)平滑

つづく

つづき

通気見切り金物	本体	材料：①～⑲の一 ①冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯(JIS G 4305) ②熱間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯(JIS G 4304) ③耐海水ステンレス鋼板 化学成分(質量%)： C ≦0.020、Si≦0.80、Mn≦1.00、P ≦0.030、S ≦0.015、 Ni 17.00～19.50、Cr 19.00～21.00、Mo 5.50～6.50、N 0.16～0.24、 Cu 0.50～1.00 ④高耐錆性ステンレス鋼板 化学成分(質量%)： C ≦0.010、Si≦1.00、Mn≦1.00、P ≦0.040、S ≦0.007、Ni≦0.60、 Cr 22.00～23.00、Mo 1.50～2.50、N ≦0.020、Nb＋Ti≧16(C＋N) ⑤塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯(JIS G 3322) ⑥塗装溶融亜鉛－5%アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯(JIS G 3318) ⑦塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯(JIS G 3312) ⑧溶融55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯(JIS G 3321) ⑨溶融亜鉛－5%アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯(JIS G 3317) ⑩溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯(JIS G 3302) ⑪ポリ塩化ビニル被覆金属板(JIS K 6744) 下地金属板による種類：SG、S、SA、SE、SC ⑫建築構造用溶融亜鉛－アルミニウム－マグネシウム合金めっき鋼板 (国土交通大臣認定指定建築材料：MSTL-0064、0065、0069及び0070) ⑬一般構造用圧延鋼材(JIS G 3101) ⑭熱間圧延軟鋼板及び鋼帯(JIS G 3131) ⑮冷間圧延鋼板及び鋼帯(JIS G 3141) ⑯電気亜鉛めっき鋼板及び鋼帯(JIS G 3313) ⑰溶融アルミニウムめっき鋼板及び鋼帯(JIS G 3314) ⑱溶融亜鉛－6%アルミニウム－3%マグネシウム合金めっき鋼板 ⑲溶融亜鉛－11%アルミニウム－3%マグネシウム合金めっき鋼板 ⑱、⑲の母材の材質：冷間圧延鋼板及び鋼帯(JIS G 3141) 厚さ：0.4mm以上 表面化粧・裏面化粧 上塗材 材料：1)～11)の一 1)エポキシ・ポリエステル樹脂系塗料 2)エポキシ樹脂系塗料 3)ポリエステル樹脂系塗料 4)アクリル樹脂系塗料 5)アクリルウレタン樹脂系塗料 6)ポリウレタン樹脂系塗料 7)ウレタン樹脂系塗料 8)フッ素樹脂系塗料 9)アクリルシリコーン樹脂系塗料 10)無機質系塗料(ポリシロキサン系等) 11)なし

つづく

つづき

通気見切り金物	本体	下塗材 材料：1)～6)の一 1)なし 2)ウレタン樹脂系塗料 3)エポキシ樹脂系塗料 4)アクリル樹脂系塗料 5)エポキシ・ポリエステル樹脂系塗料 6)ポリエステル樹脂系塗料 有機質量：300g/m²以下(表裏面合計有機質固形分量) (但し、材料⑤～⑦、⑪は被覆(塗装)との合計) 換気孔の寸法(1孔あたり)：4.5(±1)×16.5(±3)mm以下 換気孔間隔：2(±1)mm以上 換気孔面積：114.35(±10)cm²/m以下
	フラップ	仕様：(1)又は(2) (1)塩化ビニル樹脂 厚さ：1.2(±0.2)mm以下 (2)なし
	水密材	仕様：(1)又は(2) (1)なし (2)あり 構成：①及び② ①EPDM系水密材 見掛け密度：0.04(±0.01)～0.11(±0.02)g/cm³ 寸法：厚さ6(±3)mm×幅10(±3)mm ②固定用粘着剤 材質：a)、b)又はc) a)合成樹脂系 b)アクリル系 c)ゴム系 厚さ：0.34(±0.05)mm以下 幅：①EPDM系水密材の幅以下
	加熱発泡材	仕様：(1)又は(2) (1)なし (2)あり 材料：①及び② ①グラファイト系加熱発泡材 組成(質量%)： 膨張性黒鉛 30(±5) 粉末充てん材 20(±5) ゴムバインダー 15(±5) 耐熱性繊維類 20(±5) 難燃剤・ゴム薬品等 15(±5) 寸法：厚さ1.5(±0.3)～5(±0.5)mm×幅8(±0.5)～20(±0.5)mm ②固定用粘着剤 材料：1)～4)の一 1)なし 2)アクリル系粘着剤 3)ゴム系粘着剤 4)合成樹脂系粘着剤 厚さ：0.34(±0.05)mm以下 幅：①グラファイト系加熱発泡材の幅以下

つづく

つづき

通気見切り金物	接合部材	仕様：(1)又は(2) (1)なし (2)あり 材料、表面化粧・裏面化粧：通気見切り金物(本体)と同じ 厚さ：0.25～1.0㎜ 幅：10(±2)～200(±2)㎜
野縁		材料：①～④の一 ①日本農林規格に適合する針葉樹の製材、集成材 ②日本農林規格に適合する単板積層材 ③日本農林規格に適合する枠組壁工法構造用製材又は構造用たて継ぎ材 ④平成12年建設省告示第1452号第六号に規定する無等級材又は第七号に規定する木材 密度：0.35(±0.035)g/cm³以上 寸法： 一般部；30(±3)×30(±3)㎜以上 被覆材目地部；30(±3)×40(±3)㎜以上 取付間隔：軒の出方向920㎜以下、軒の幅方向500㎜以下
吊り木		仕様：(1)又は(2) (1)なし(軒の出が920㎜以下、又は軒の出920㎜を超えて野縁を直接、垂木に固定する場合) (2)あり 材料：野縁と同じ 寸法：25(±3)×30(±3)㎜以上 取付間隔：2000㎜以下

4. 申請仕様の副構成材料：

申請仕様の副構成材料を表3に示す。

表3　申請仕様の副構成材料

項　目	申　請　仕　様
目地部材	仕様：(1)～(4)の一 (1)突き付け目地 (2)金属ジョイナー 材質：1)又は2) 1)鋼製 2)ステンレス鋼製 厚さ：0.25㎜以上 形状：H形、又はT形 表面塗装 材料：1)～8)の一、又は2)～8)の組合せ 1)なし 2)アクリルウレタン樹脂系塗料 3)アクリル樹脂系塗料 4)アクリルシリコーン樹脂系塗料 5)ふっ素樹脂系塗料 6)エポキシ樹脂系塗料 7)ポリシロキサン樹脂系塗料 8)ポリエステル樹脂系塗料 有機質量：300g/m^{2}以下(固形分量) (3)合いじゃくり目地 (4)本実目地
目地部防水材 (目地部材が合いじゃくり目地、本実目地の場合)	仕様：(1)又は(2) (1)なし (2)あり 材料：合成ゴム 使用量：5g/m以下
防水テープ	仕様：(1)又は(2) (1)なし (2)あり 材質：1)又は2) 1)アクリル系 2)ゴム系 厚さ：1(±0.1)㎜以下
留付材	被覆材固定用： 材料：①又は② ①リングくぎ、スクリューくぎ 寸法：胴部径φ2.3×長さ38㎜以上 ②タッピンねじ 寸法：呼び径φ4.0×長さ35㎜以上 材質：1)又は2) 1)ステンレス鋼製 2)鋼製 留付間隔：軒の出方向272㎜以下、軒の幅方向242.5㎜以下

つづく

つづき

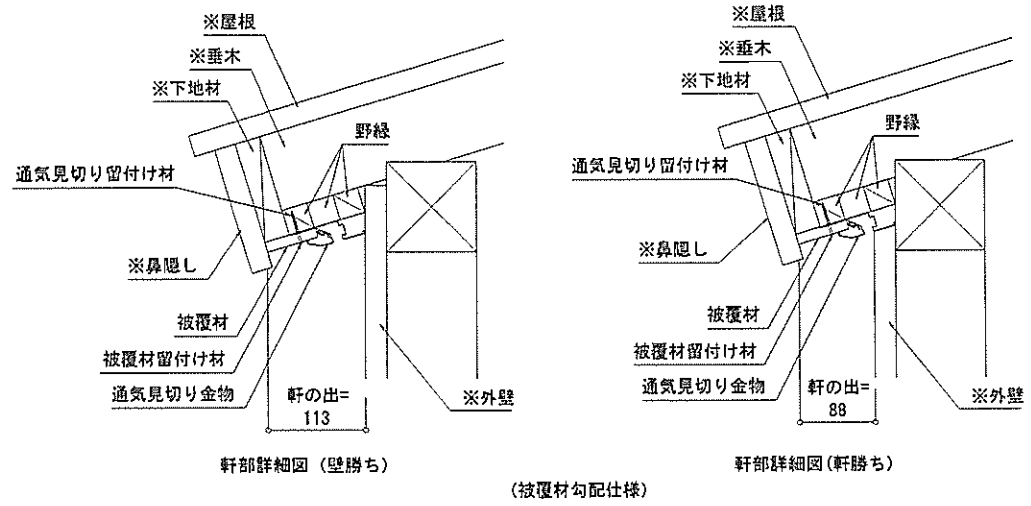
留付材	通気見切り金物固定用： 材料：①又は② ①タッピンねじ ②木ねじ 寸法：呼び径φ3.8(±0.2)×長さ28(−1)mm以上 材質：1)～7)の一 1)冷間圧造用ステンレス鋼線(JIS G 4315) 2)冷間圧造用炭素鋼線(JIS G 3507-2) 3)ステンレス鋼線材(JIS G 4308) 4)ステンレス鋼線(JIS G 4309) 5)冷間圧造用炭素鋼線材(JIS G 3507-1) 6)軟鋼線材(JIS G 3505) 7)機械構造用炭素鋼鋼材(JIS G 4051) 留付間隔：500mm以下
	野縁固定用： 材料：①～⑧の一 ①鉄丸くぎ(JIS A 5508) 寸法：N50以上 ②太め鉄丸くぎ(JIS A 5508) 寸法：CN50以上 ③丸くぎ ④リングくぎ ⑤スクリューくぎ ⑥リングスクリューくぎ ③～⑥の寸法：胴部径φ2.75×50mm以上 ⑦タッピンねじ ⑧木ねじ ⑦、⑧の寸法：呼び径φ3.0×40mm以上 ③～⑧の材質：1)又は2) 1)ステンレス鋼製 2)鋼製 留付間隔：500mm以下
	吊り木固定用(用いる場合)： 材料：野縁固定用留付材と同じ 留付本数：吊り木1箇所当たり1本以上

5. 申請仕様の構造説明図：

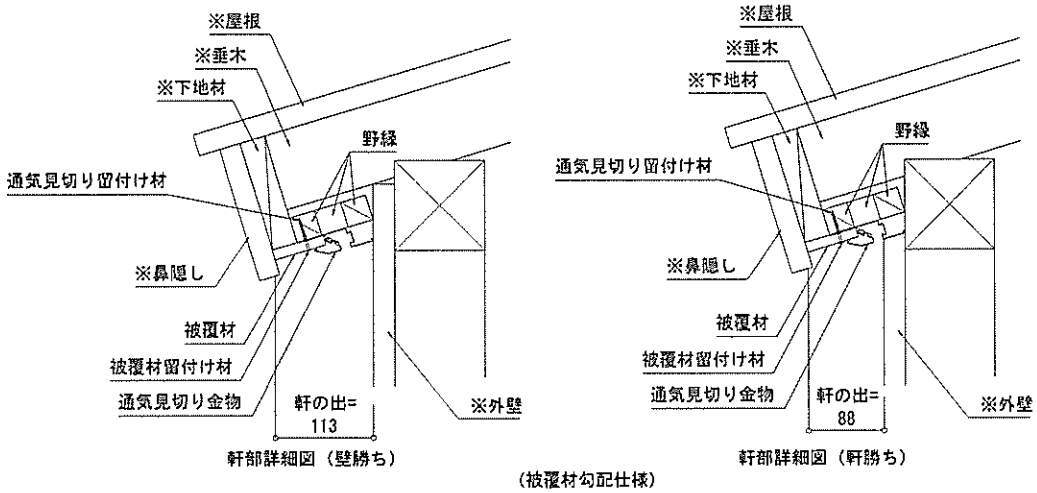
申請仕様の構造説明図を図1～図8に示す。

単位 mm
※評価対象外

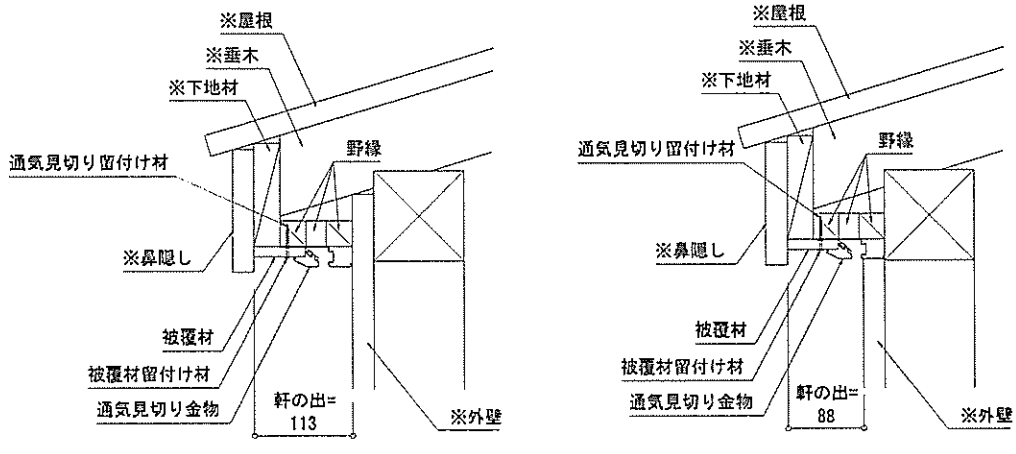
軒の出最小の場合
壁勝ち：軒の出 113、軒勝ち：軒の出 88



（被覆材勾配仕様）



（被覆材勾配仕様）
（野縁を直接垂木に固定しない場合）

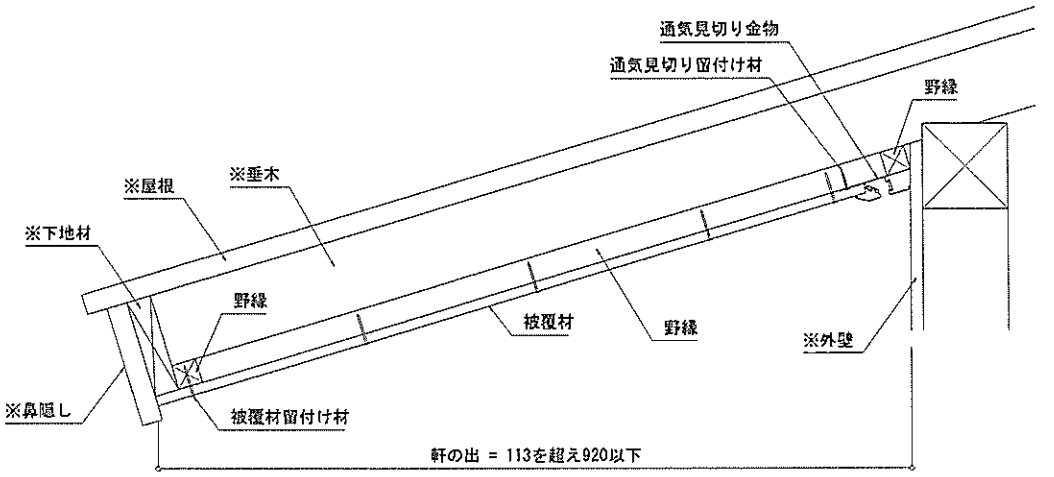


（被覆材水平仕様）

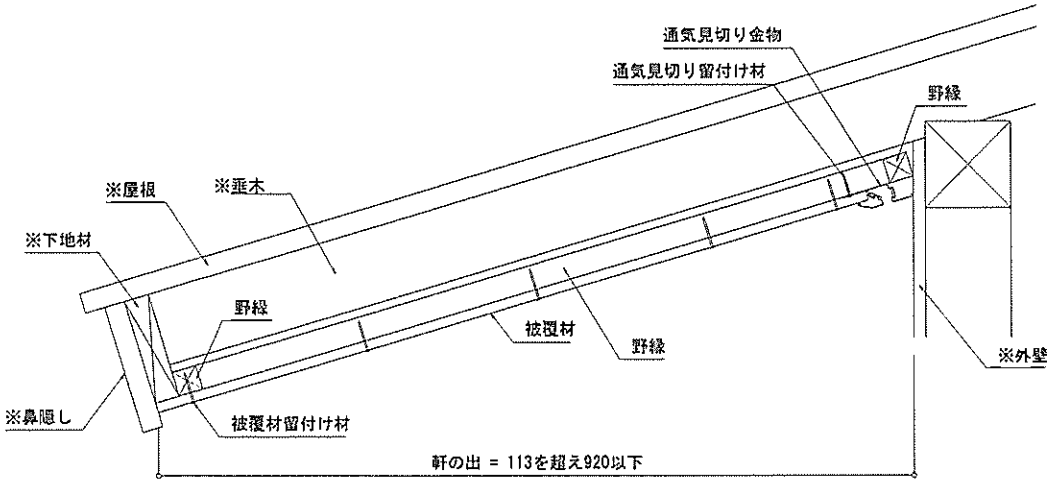
図 1　構造説明図

単位 mm
※評価対象外

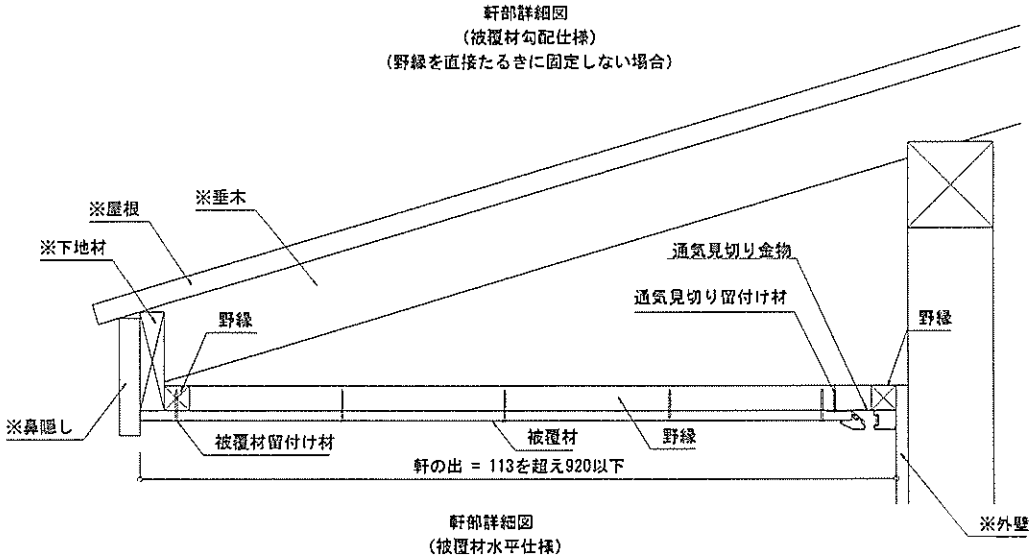
軒の出 113 を超え 920 以下の場合
壁勝ちの場合



軒部詳細図
(被覆材勾配仕様)



軒部詳細図
(被覆材勾配仕様)
(野縁を直接たるきに固定しない場合)

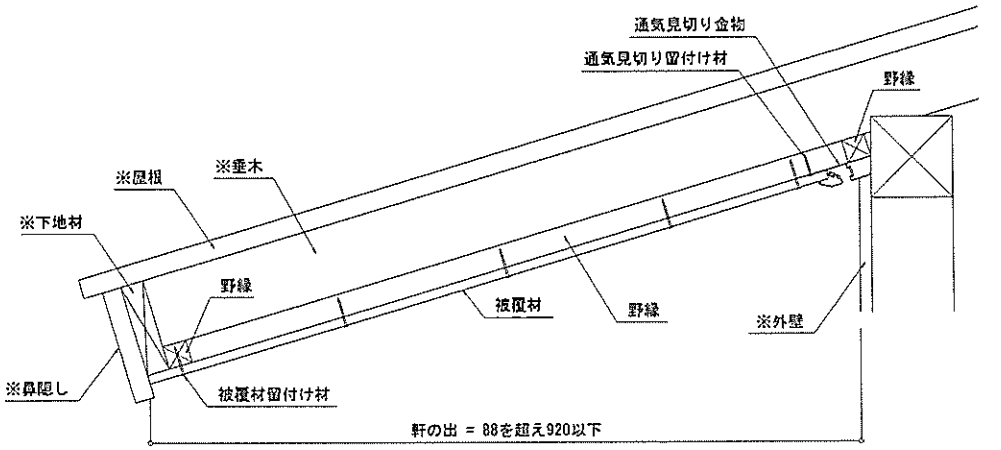


軒部詳細図
(被覆材水平仕様)

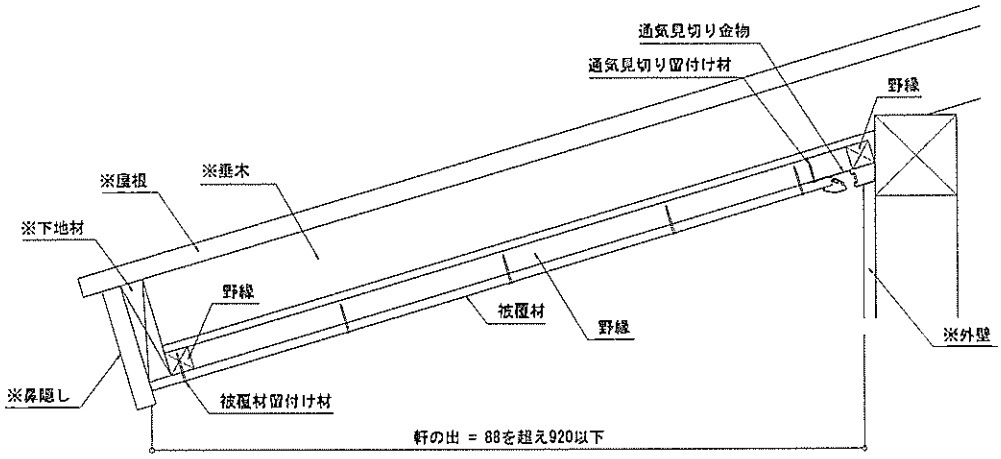
図 2　構造説明図

単位 mm
※評価対象外

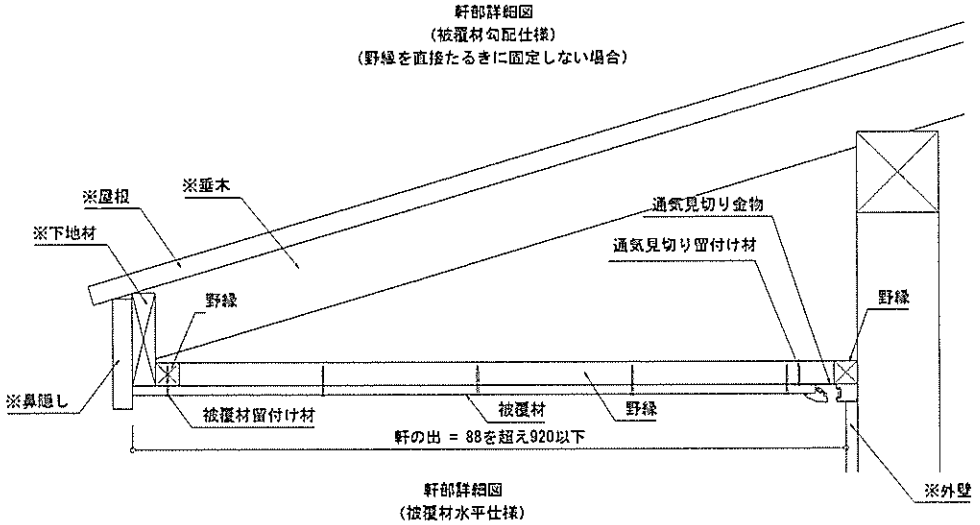
軒の出 88 を超え 920 以下の場合
軒勝ちの場合



軒部詳細図
（被覆材勾配仕様）



軒部詳細図
（被覆材勾配仕様）
（野縁を直接たるきに固定しない場合）



軒部詳細図
（被覆材水平仕様）

図 3　構造説明図

単位 mm
※評価対象外

軒の出 920 を超え 1840 以下の場合
壁勝ちの場合

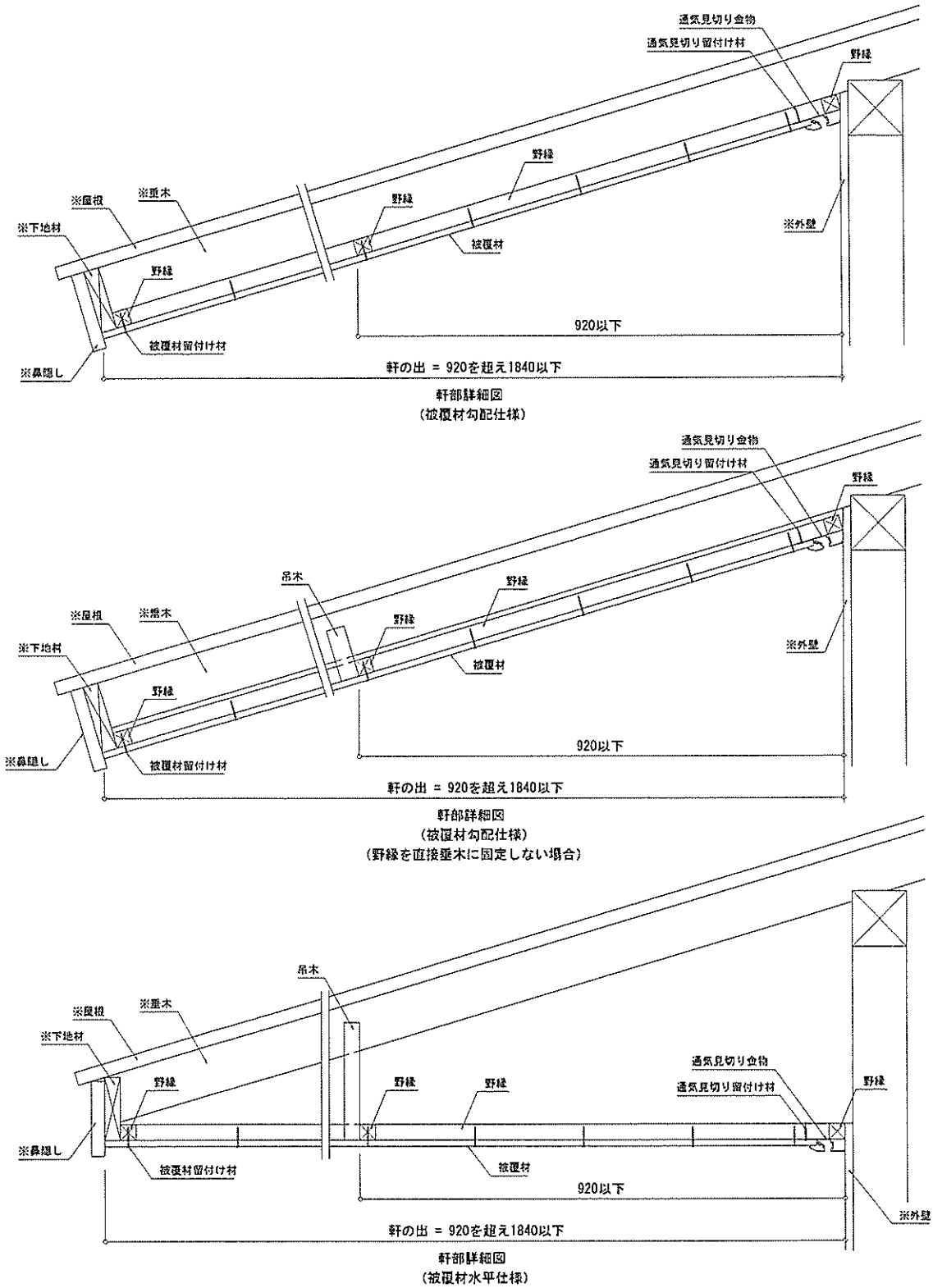
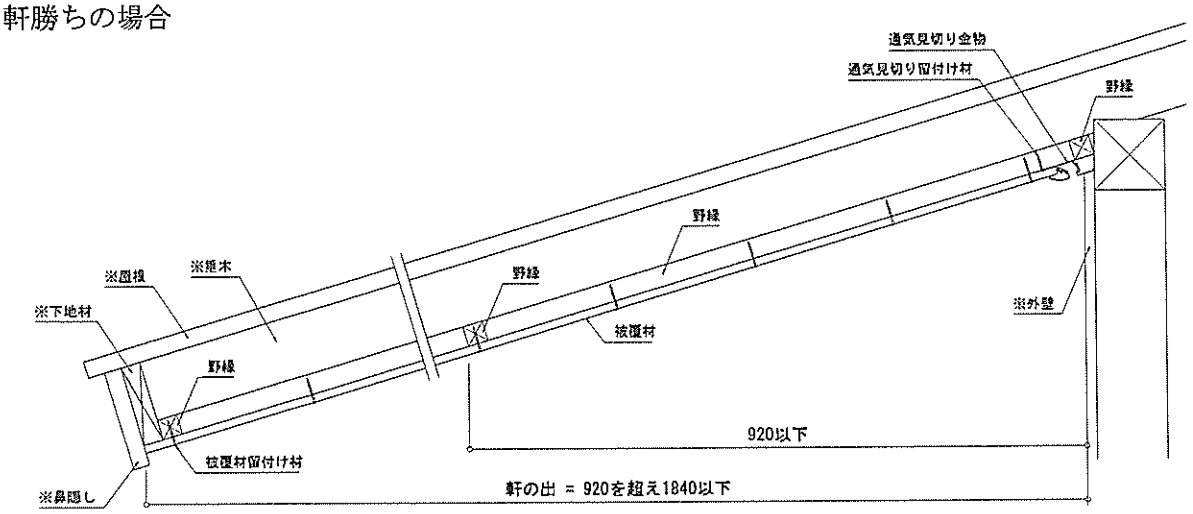


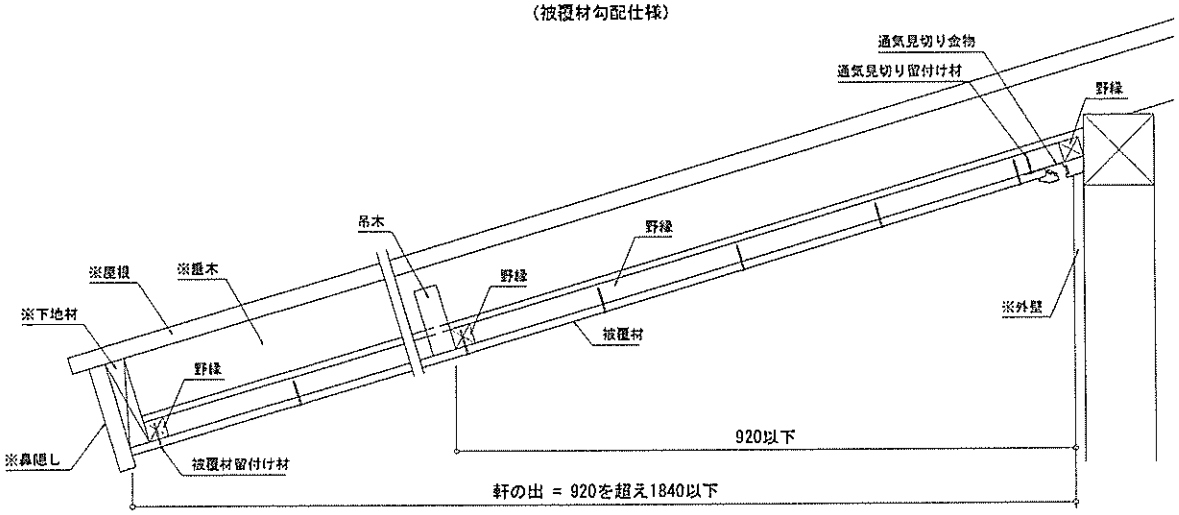
図 4　構造説明図

単位 mm
※評価対象外

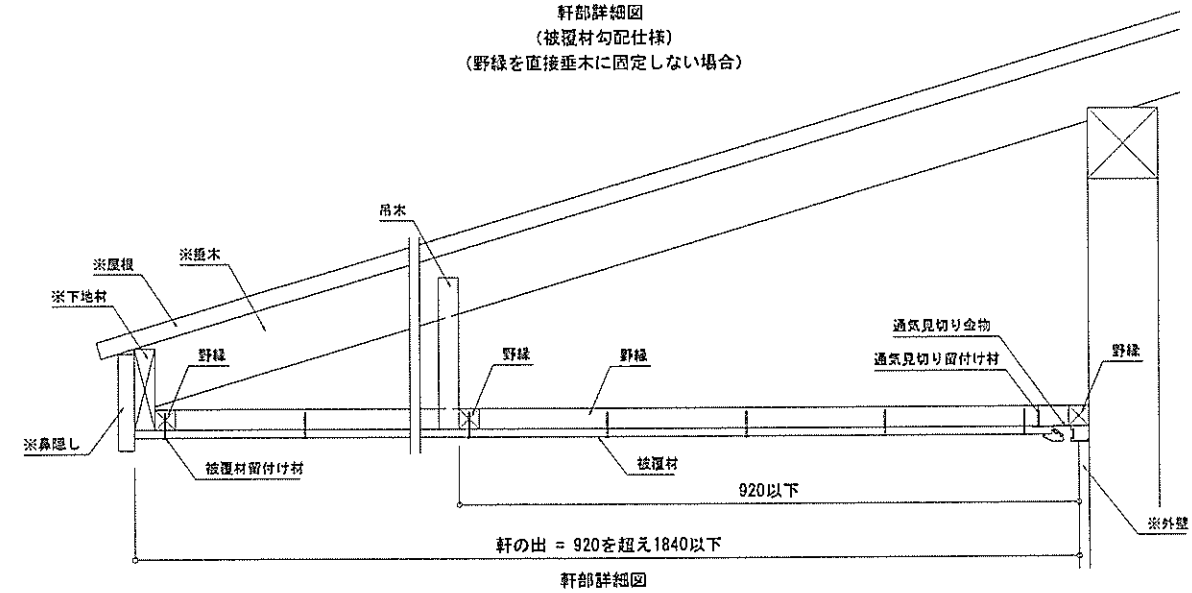
軒の出 920 を超え 1840 以下の場合
軒勝ちの場合



軒部詳細図
(被覆材勾配仕様)



軒部詳細図
(被覆材勾配仕様)
(野縁を直接垂木に固定しない場合)



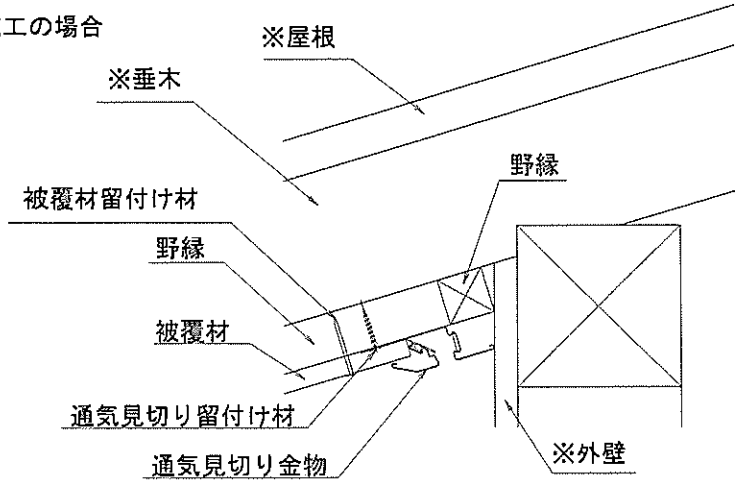
軒部詳細図
(被覆材水平仕様)

図 5　構造説明図

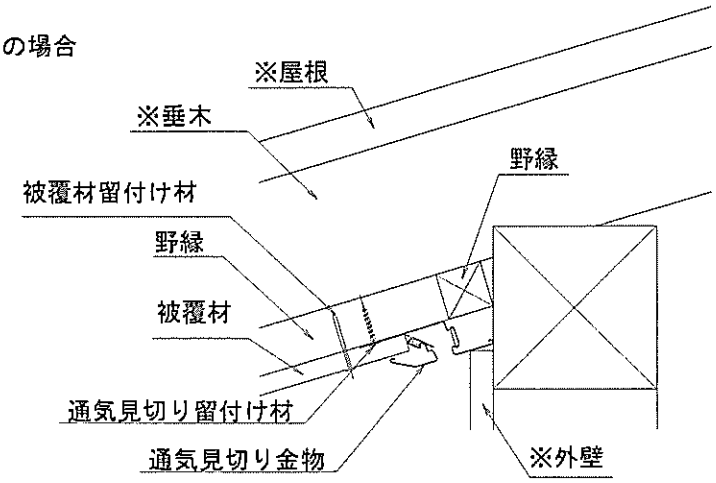
※評価対象外

通気見切り金物の納まり

通気見切り金物軒元施工の場合
壁勝ちの場合



通気見切り金物軒元施工の場合
軒勝ちの場合



通気見切り金物軒先施工の場合

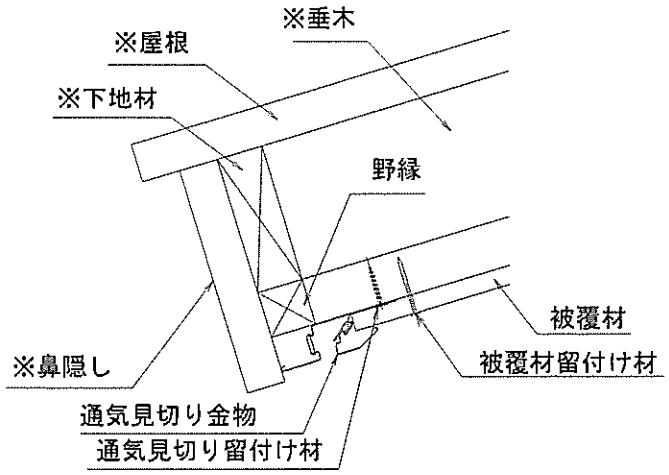
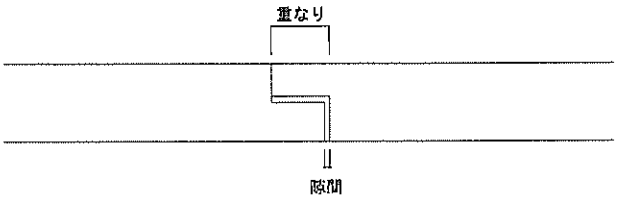
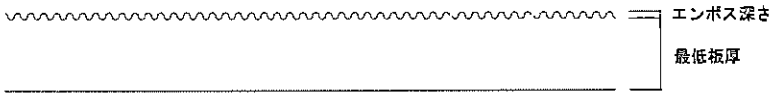


図６　構造説明図

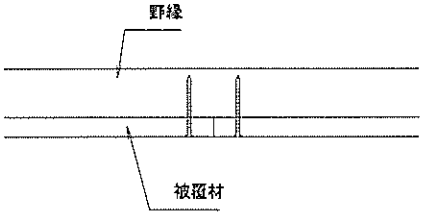
被覆材の端部形状（合いじゃくりの場合）



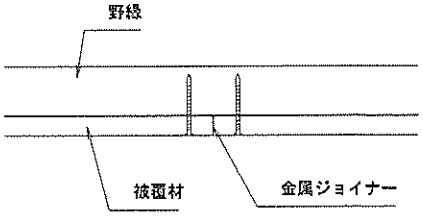
被覆材の断面形状



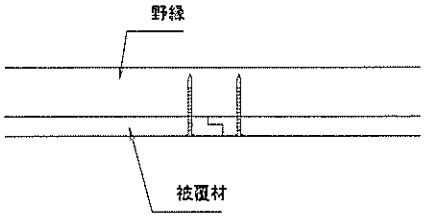
①突付け目地



②金属ｼﾞｮｲﾅｰ目地



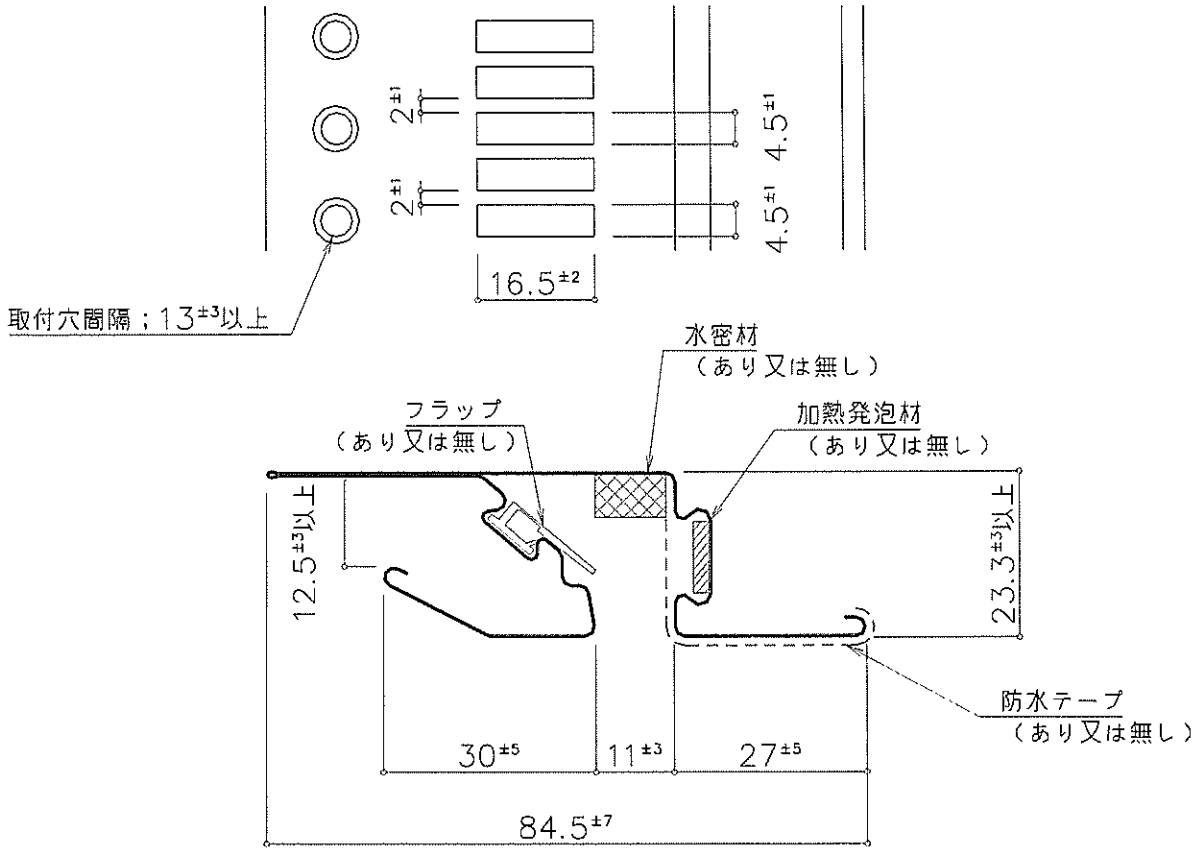
③本実・合いじゃくり目地



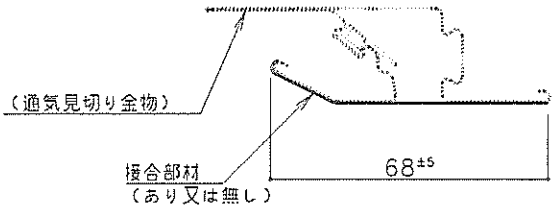
被覆材の目地処理(目地部材)

図７　構造説明図

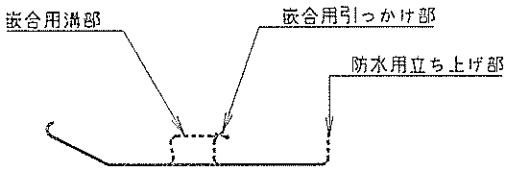
単位 mm



通気見切り金物形状図



A図　接合部材形状図



B図　接合部材形状図

A図を基本形状とし、B図の嵌合用溝部、嵌合引っかけ部、防水用立ち上げ部を設ける仕様もある。

図8　構造説明図

6.施工方法：

施工図を図9～図14に示す。

施工は、以下の手順で行う。

(1)野縁の取り付け

・軒の出が920mm以下の場合、野縁は垂木、下地材、躯体、必要に応じて躯体又は垂木に取り付けた吊木に、野縁固定用留付材を用いて固定する。

・軒の出が920mmを超え1840mm以下の場合、軒の出方向の中間部に野縁をさらに配置し、取付間隔が920mm以下になるように、垂木又は、垂木に固定した吊木に、野縁固定用留付材を用いて固定する。

(2)軒天の取り付け

①通気見切り金物の取り付け

・通気見切り金物は、通気見切り金物固定用留付材を用いて野縁に固定する。

・通気見切り金物は、連続して使用する場合は、突きつけ又は接合部材を使用し配置する。

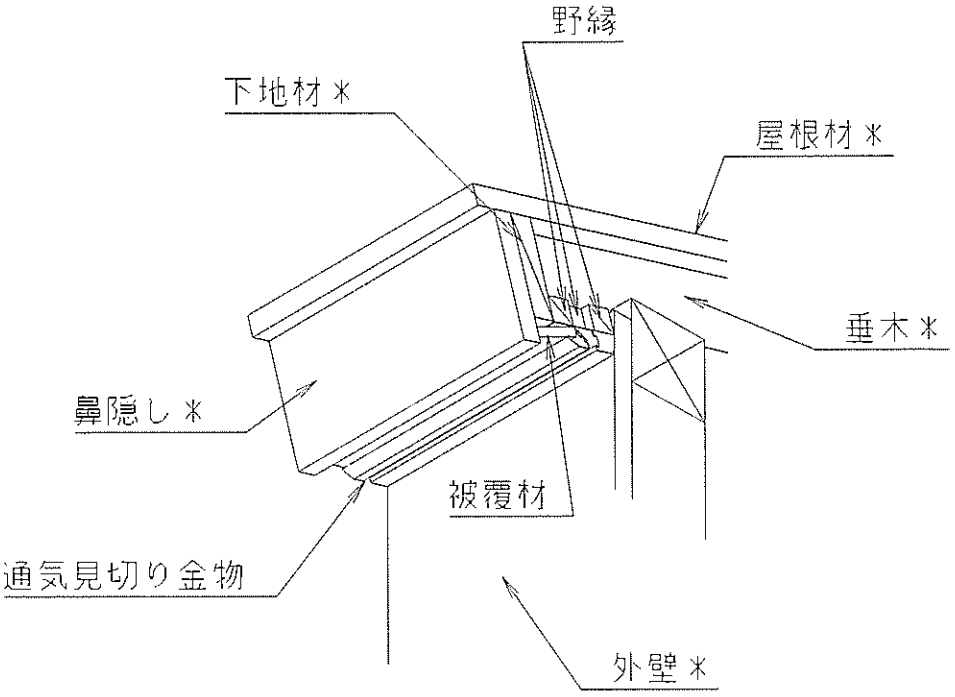
②被覆材の取り付け

・被覆材は、通気見切り金物に被覆材を挟み込んでから被覆材固定用留付材を用いて野縁に固定する。

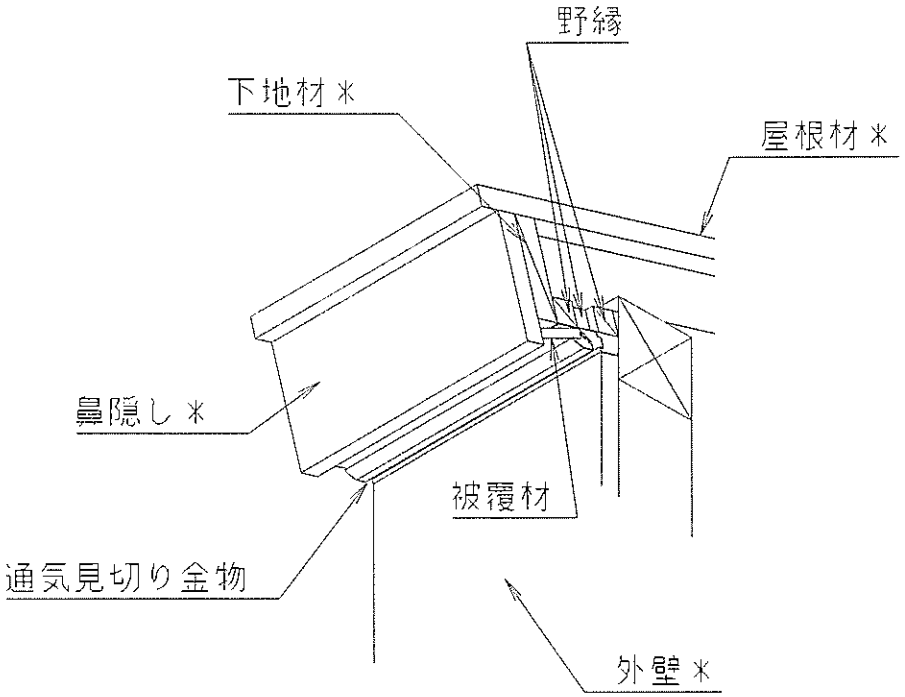
・軒幅方向の被覆材目地は突き付け、合じゃくり又は金属ジョイナー目地とする。

単位 mm
※評価対象外

被覆材勾配仕様
壁勝ち　軒の出 113、軒勝ち　軒の出 88



軒部詳細図（壁勝ちの場合）

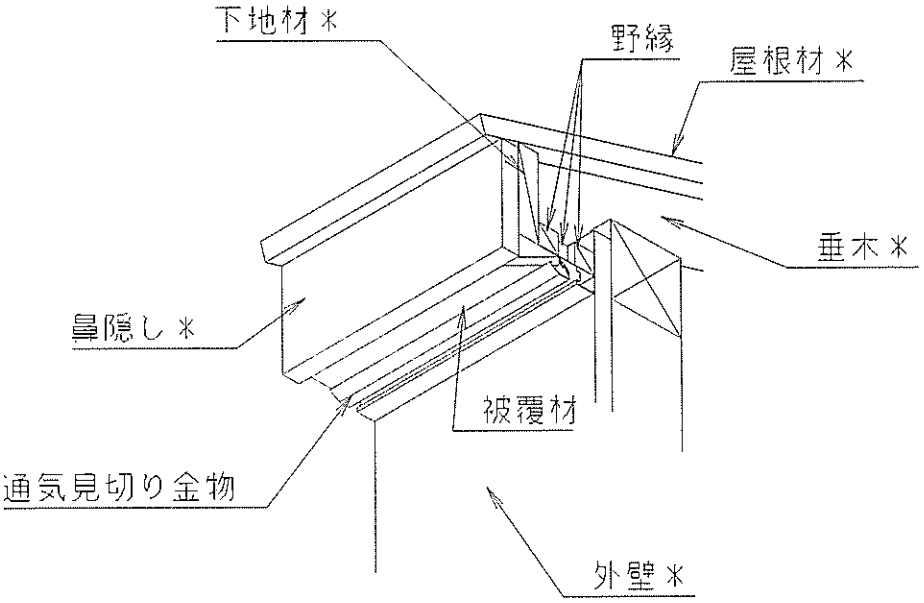


軒部詳細図（軒勝ちの場合）

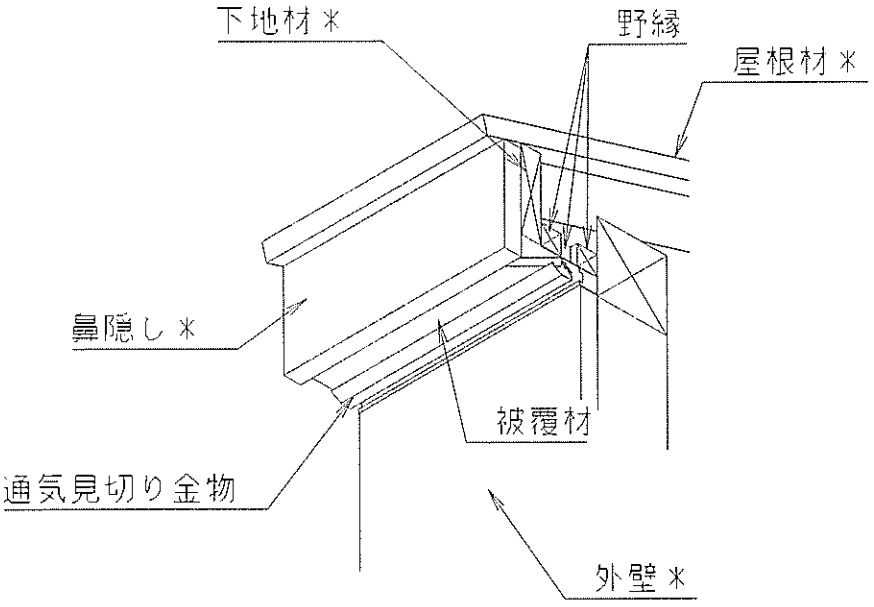
図 9　施工図

単位 mm
※評価対象外

被覆材水平仕様
壁勝ち　軒の出 113、軒勝ち　軒の出 88



軒部詳細図（壁勝ちの場合）

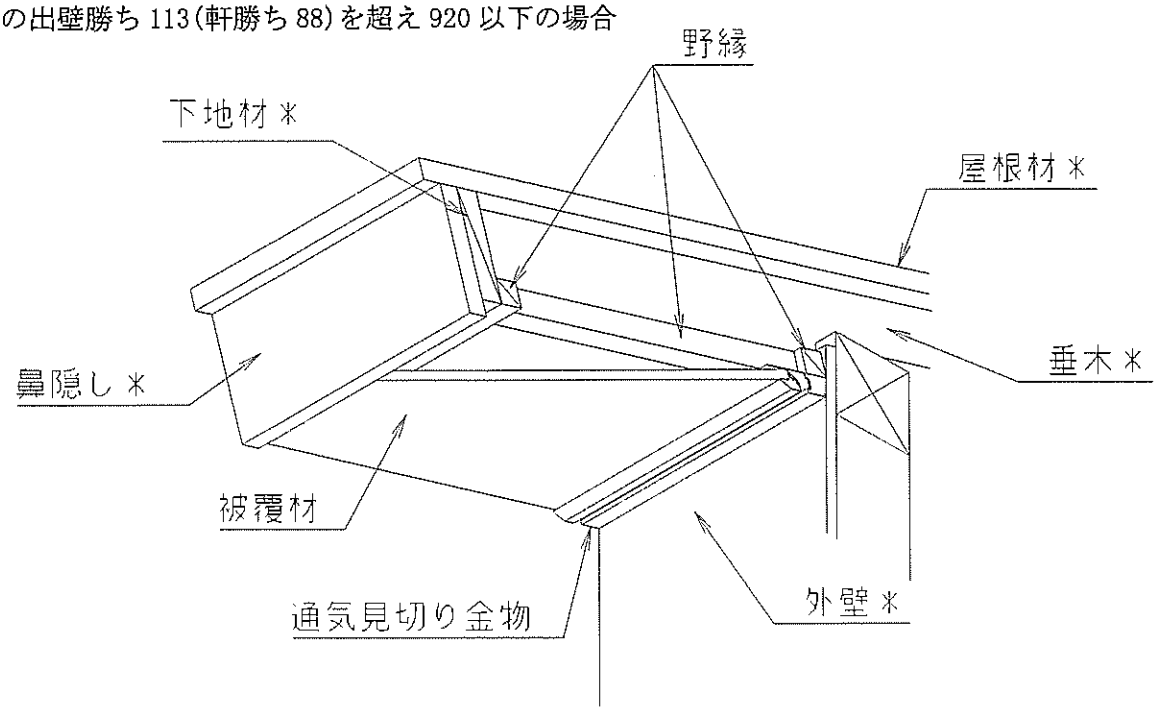


軒部詳細図（軒勝ちの場合）

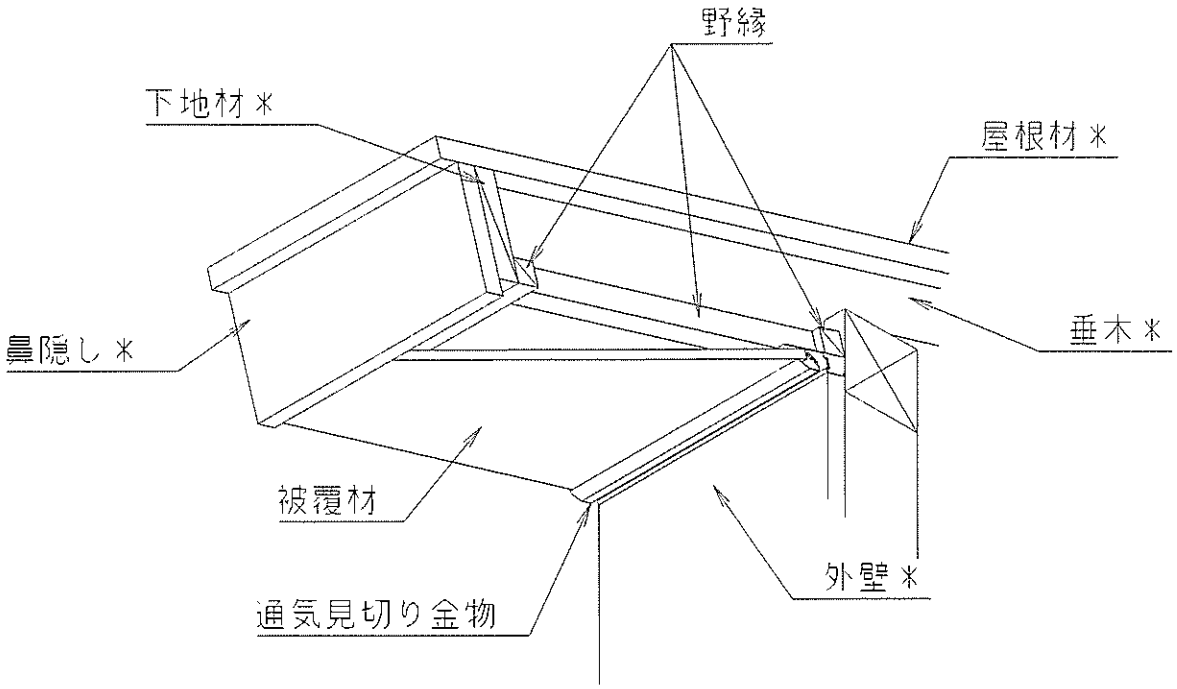
図 10　施工図

単位 mm
※評価対象外

被覆材勾配仕様
軒の出壁勝ち 113(軒勝ち 88)を超え 920 以下の場合



軒部詳細図（壁勝ちの場合）

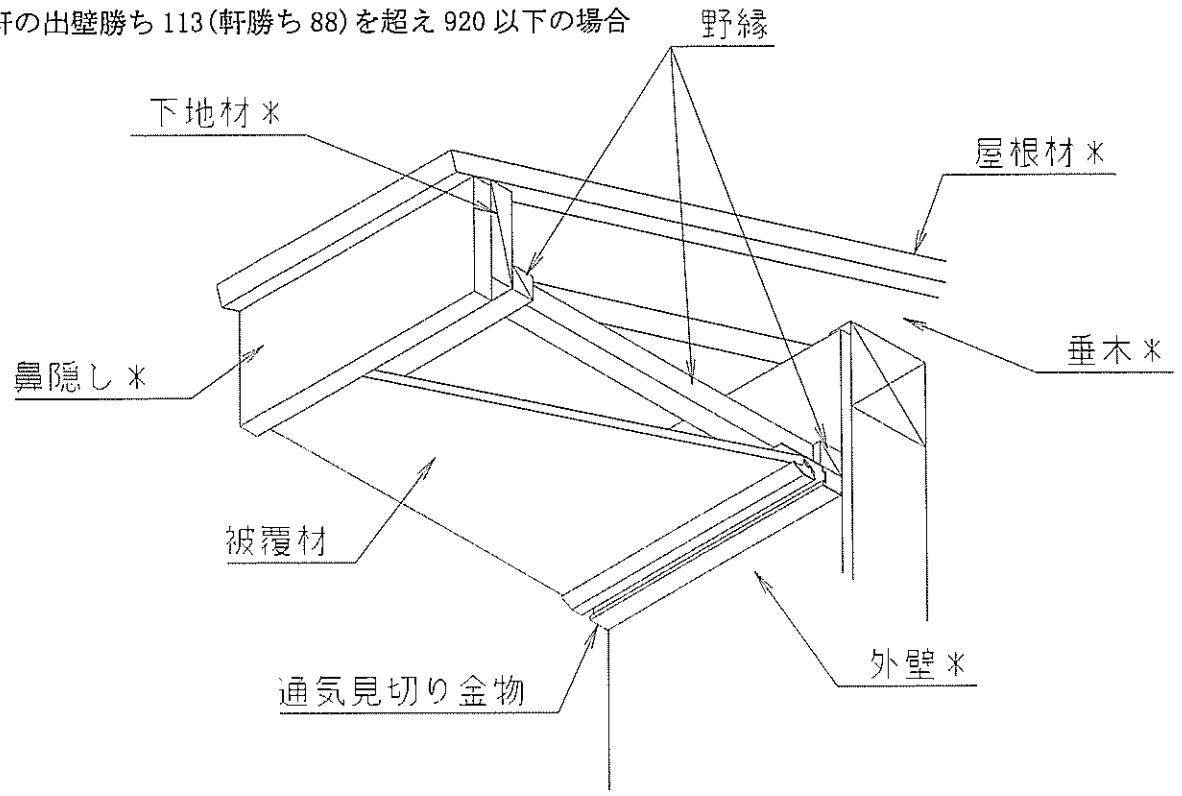


軒部詳細図（軒勝ちの場合）

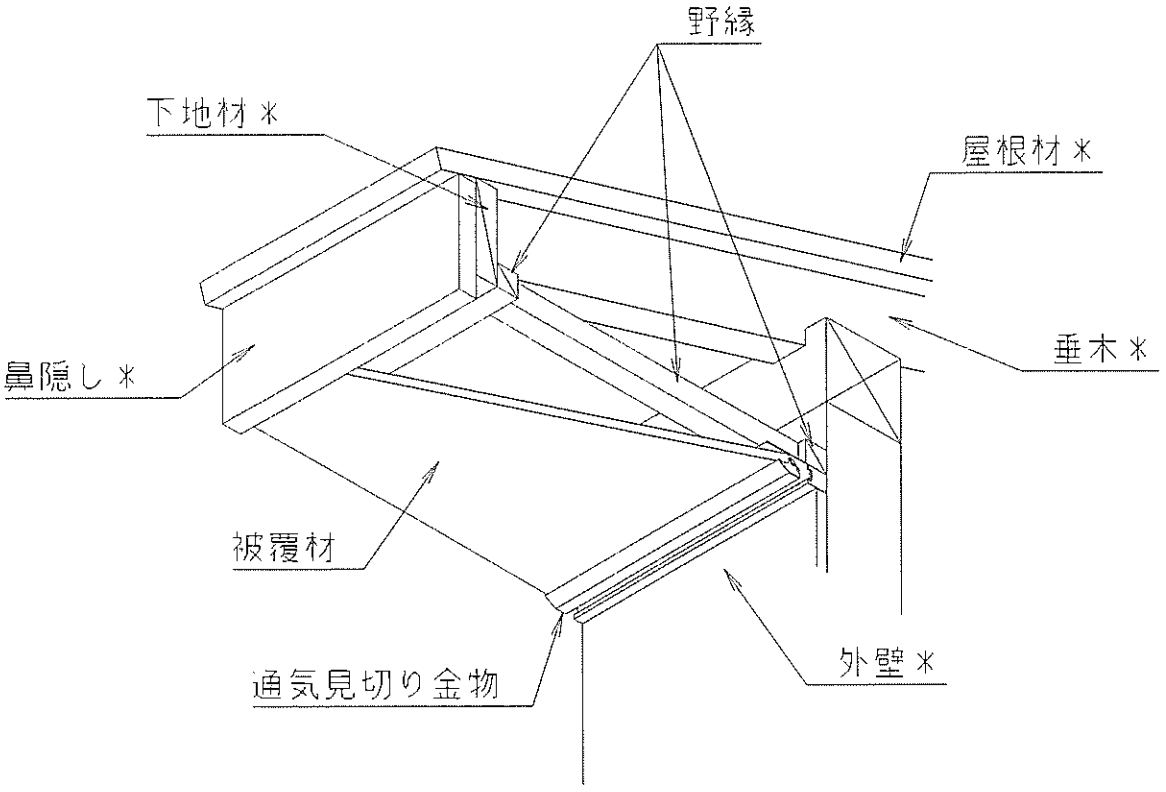
図 11　施工図

単位 mm
※評価対象外

被覆材水平仕様
軒の出壁勝ち 113(軒勝ち 88)を超え 920 以下の場合



軒部詳細図（壁勝ちの場合）

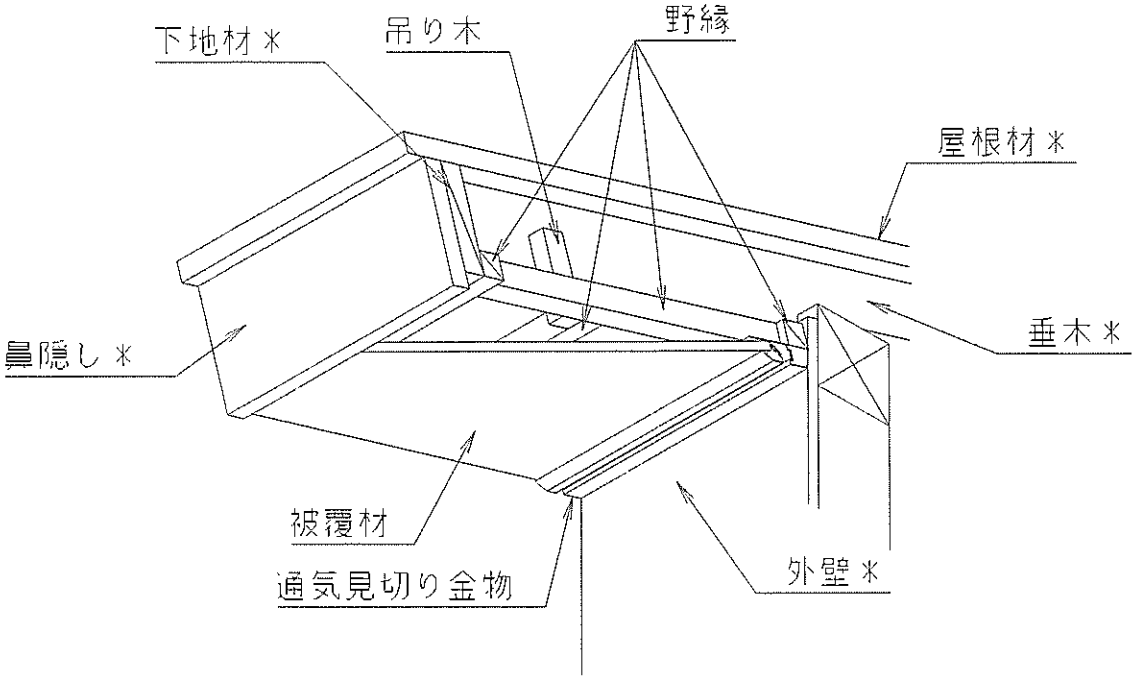


軒部詳細図（軒勝ちの場合）

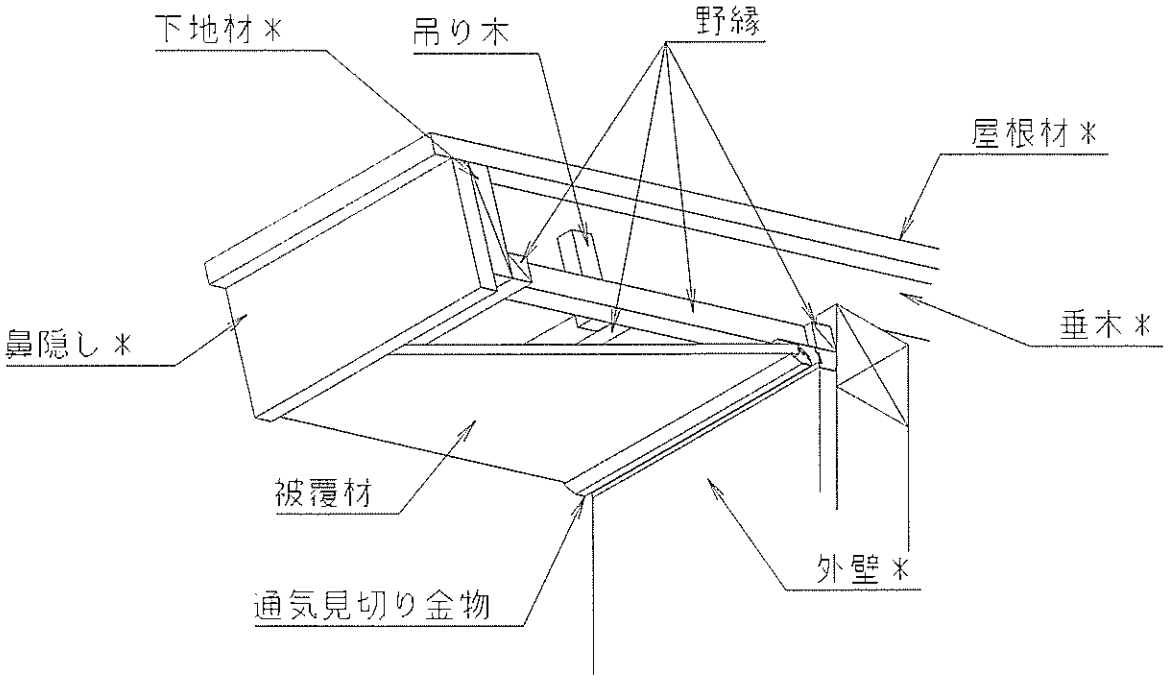
図 12　施工図

単位 mm
※評価対象外

被覆材勾配仕様
軒の出 920 を超え 1840 以下の場合



軒部詳細図（壁勝ちの場合）

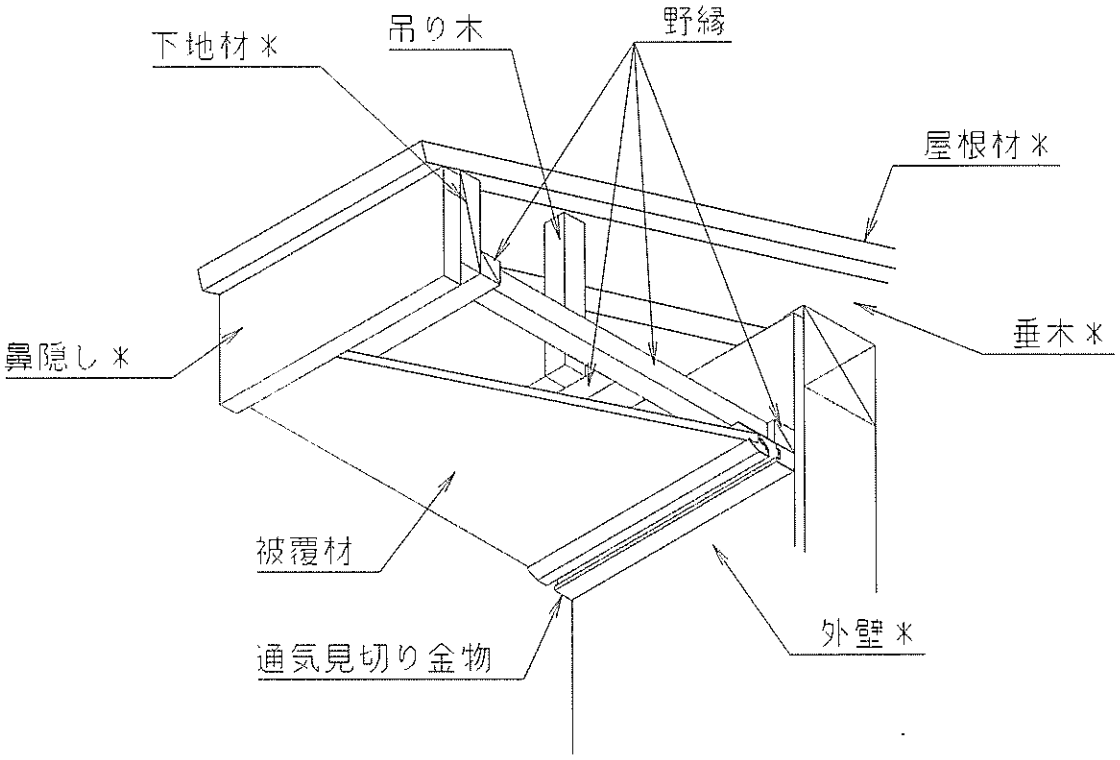


軒部詳細図（軒勝ちの場合）

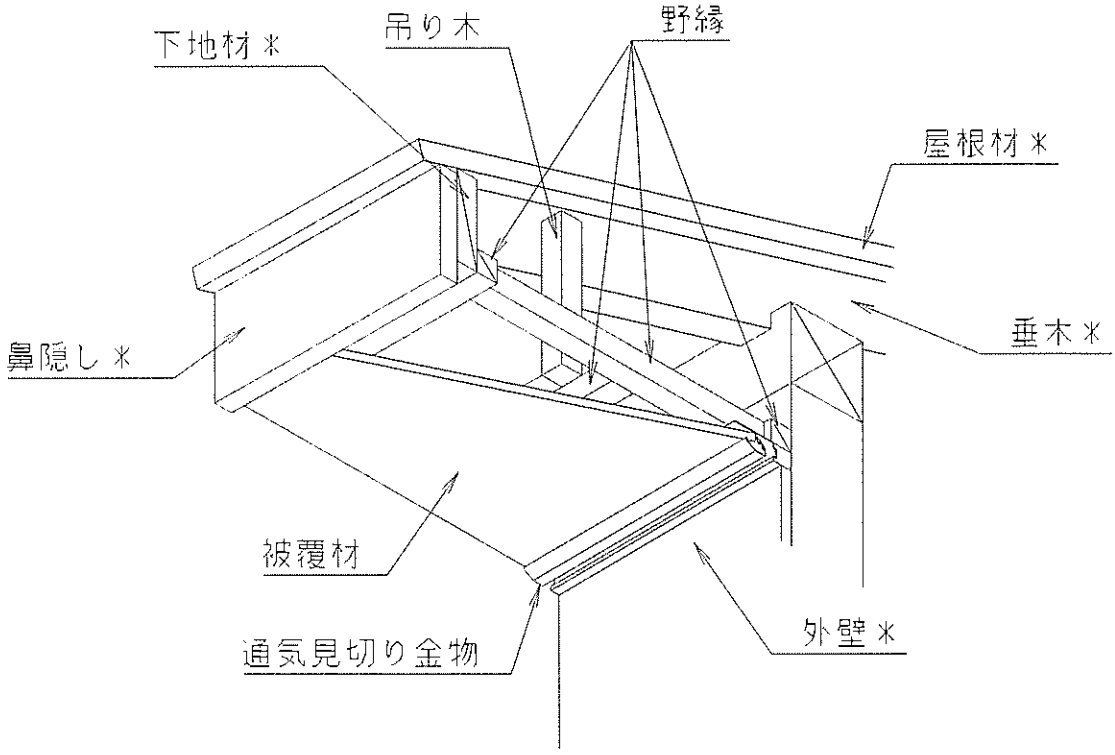
図 13　施工図

単位 mm
※評価対象外

被覆材水平仕様
軒の出 920 を超え 1840 以下の場合



軒部詳細図（壁勝ちの場合）



軒部詳細図（軒勝ちの場合）

図 14　施工図